



ひまわり

桶川市青少年健全育成市民会議

第 42 号

平成31年1月1日（年1回発行）

発 行 桶川市青少年健全育成市民会議

編 集 桶川市青少年健全育成市民会議

広 報 発 行 委 員 会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習文化財課

☎ 786-3211

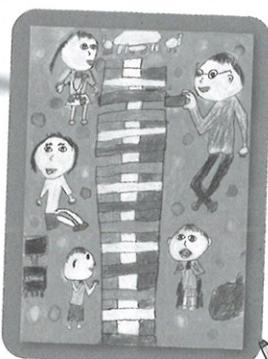
✉ shogai @ city.okegawa.lg.jp



平成30年度「家庭の日」ポスターコンクールで優秀賞を受賞された皆さんの作品です。おめでとうございます。(敬称略)

入賞作品は1月4日から31日まで

市役所1階市民ギャラリーに展示します。



日出谷小学校 6年 矢澤 史哉
「みんなでアイス」

桶川西小学校 6年 斎藤 匠
「楽しいドライブ」

桶川西小学校 4年 馬場 将太郎
「クワガタ、カブトムシ、たくさんいるぞ！」



桶川中学校 1年 北村 千晶
「みんなで楽しく流しそうめん」

桶川中学校 2年 山崎 成海
「心ひとつに」

桶川中学校 3年 岡村 有香
「笑顔あふれる家庭の日」

市民大会にて講演会が行われました



「子どもを非行や犯罪から守る親と地域のチカラ」

特定非営利活動法人 日本ガーディアン・エンジェルス

理事長 小田 啓二 氏

ガーディアン・エンジェルスのみなさんは、青少年には無限の可能性がある、と信じて活動している。どんなに背伸びをした格好をしていても、年相応の子ども達・・・人は変わることを信頼できる権利がある、と講師の小田さんは言う。

当時のアメリカの若者たちは、家庭崩壊、失踪、ドラッグ・ギャングへの勧誘などで、未来に希望が持てなかつた。しかしながら、ガーディアン・エンジェルスの活動は、そんな若者たちの

- 1 居場所になつた：（安全な場所、食事や寝床の提供）
- 2 非行を予防した：（規範やルール順守の教育）
- 3 やりがいを作つた：（防犯パトロールやコミュニケーションを通じて頼られる存在となることで、自尊心の向上につながる）

最近の子どもの傾向

群れない（単独行動）。無料Wi-Fiがある所や携帯を充電できる所に集まる。そんな現代の若者だが、何かに打ち込むものを見つけると人は変わる。例えば、ごく普通の目立つたがり屋の少年。強いリカッコイという勘違いをしているのだが、やがて本当のカッコよさに気づく：これは様々な経験を通じて本人が気づくしかない。それには、少年が受け取りやすい言葉を、周りの大人がかけてあげることだ。そうして彼らが社会で暮らす喜びを見つける。

見守りパトロールでは、まず、あいさつをするよう心がける。注意ではなくあいさつを。なぜなら、あいさつをされて嫌な気持ちになる人はいないから。

コミュニケーションの秘訣

今日ここで、相手を尊重し、相手の立場に立ったコミュニケーションの取り方を学んだことは、私たちにとっても若者を理解する上でとても良い機会となつた。

（西永）

日本ガーディアン・エンジェルス理事長の小田啓二さんによる講演会では特定非営利活動法人の表彰が行われ、さらに市内小中学校が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクール及び「家庭のその後、「青少年育成功労賞」の表彰が行われました。

（小高）

町の清掃ボランティアとして、ニューヨークで、1979年に始動した。小田さんはアメリカでこの活動に参加し、日本に帰国後、全国の繁華街でパトロールを行い、あいさつ・声かけなどで若者の非行防止に努めている。

ガーディアン・エンジェルスのみなさんは、青少年には無限の可能性がある、と信じて活動している。どんなに背伸びをした格好をしていても、年相応の子ども達・・・人は変わることを信頼できる権利がある、と講師の小田さんは言う。

当時のアメリカの若者たちは、家庭崩壊、失踪、ドラッグ・ギャングへの勧誘などで、未来に希望が持てなかつた。しかししながら、ガーディアン・エンジェルスの活動は、そんな若者たちの

- 1 居場所になつた：（安全な場所、食事や寝床の提供）
- 2 非行を予防した：（規範やルール順守の教育）
- 3 やりがいを作つた：（防犯パトロールやコミュニケーションを通じて頼られる存在となることで、自尊心の向上につながる）



桶川市青少年健全育成市民大会

第31回

桶川市青少年健全育成市民会議年間事業



非行防止街頭 キャンペーン

7月4日(水)、午後6時から桶川駅周辺において、
非行防止街頭キャンペーンが行われました。

強風の中、たくさんの構成団体と上尾警察署の協力でリーフレットの配布と共に非行防止を呼びかけました。 (金子)

(金子)

市民まつり非行防止 キャンペーン

11月3日(土)、快晴に恵まれた秋空のもと、市民まつりが開催されました。当市民会議構成団体及び関係者の方々により、桶川小学校・中山道において風船やリーフレットを配布し、青少年非行防止の大切さを訴えました。(甘浦)

巡回指導員・街の応援団

市内小・中学校PTAで構成されている巡回指導員は、月2回、街頭や娯楽施設を中心に、パトロールを行っています。今年度からは、埼玉県事業の「街の応援団」にも参加しています。

6月1日(金)、東公民館にて、巡回指導員の委嘱式と研修会を行いました。研修会では、講師に特定非営利活動法人 日本ガーディアン・エンジエルズの理事長 小田啓二さんを招き、「少年たちの心をつかむ声か

巡回指導員・街の応援団

総会行事に先立ち、「子どもたちに自分らしく生きていく力を〜車いすから見える世界をとおして〜」と題して埼玉県家庭教育アドバイザーの又野亞希子さんに講演していただきました。

講演の中では、交通事故で胸から下に麻痺が残る大怪我を負い、生きる希望をも失った中、新しい命を授かり無事出産したことで、車いすでの子育てを通して日々実感している「生きる喜び」「命の尊さ」についてお話をしました。

また、特別表彰として、当市民会議

5月27日(日)、桶川東公民館において
平成30年度桶川市青少年健全育成市民
会議総会が開催されました。

事業である「あそびっ子」を15年間続けてこられた、吉田智子さんと神崎純子さんに、育成功労賞を授与しました

小高



「けのポイント」をテーマに、子どもへの声かけ方法やポイントなどを教えていただきました。

その他にも、年2回の非行防止キャンペーングや、7月15日(日)・16日(月)の祇園祭で夏祭りを行い、巡回指導を行い、会の様子

青少年の健全育成

活動しています。



巡回指導員研修会の様子

おけがわ春のふれあいフェスタ

今にも空が泣き出しそうな曇天のもと、5月13日(日)、2018おけがわ春のふれあいフェスタが、「災害復興支援がんばろう日本！」をスローガンに開催されました。

今年度も、出店している69団体に義援金の募金箱を設置し、多くの参加者にご協力いただきました。

市民ホールでは、チアダンスチームの素晴らしい演技、桶川西中学校と桶川高等学校の吹奏楽部及び桶川市民吹奏楽団が素晴らしい演奏を行ない、会場は熱気に包まれていきました。

なお降雨の予報をもとに、14時にフェスタを終了しました。(瀧谷)



桶川市青少年健全育成市民会議総会

コンクールの入賞者が表彰されました

青少年育成功労賞表彰

●個人の部
 桶川サッカースポーツ少年団
 上野 隆
 野中 剛
 五島 一則
 桶川ヤンキーススポーツ少年団



●団体の部
 鴻巣地区更生保護司会桶川支部
 川田谷小学校合宿通学実行委員会
 日出谷小学校 学校応援団
 桶川市人権擁護委員会
 桶川地区更生保護女性会
 政輝 淑江
 伊東 昭子
 新井 洋子
 秋山 太一郎
 桶川市子ども会育成連絡協議会
 桶川市青少年相談員協議会
 合氣道桶川愛氣会
 I・K・O剛柔流桶川空手道会
 北島 理行
 河原塚 貴史
 待鳥 峰喜
 新田 紀子

市民大会で行われた表彰式では、青少年の育成に顕著な功績のあった12名・2団体に「青少年育成功労賞」が授与されました。

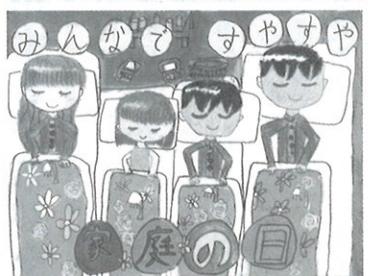
また、市内小・中学校の児童・生徒が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクールでは116点の応募があり、優秀賞6点、優良賞6点の入賞者の表彰を行いました。

さらに、今年度から小学校1年生から応募できるようになった「家庭の日」ポスターコンクールでは256点の応募があり、優秀賞9点、優良賞9点の入賞者の表彰を行いました。表彰された皆様や作品を紹介します。（瀧谷）
 (敬称略)

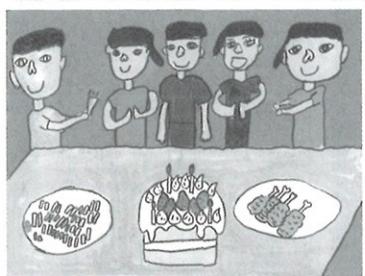
会長
瀧谷 光章



優良賞作品



桶川東小学校 4年 本田 花音
 「みんなで すやすや うれしいな」



桶川東小学校 2年 黒木 強太
 「誕生日会」

「家庭の日」ポスターコンクール入賞者



優良賞



桶川東小学校 5年 鈴木 蓮
 「家族でサッカー観戦」



桶川小学校 2年 高澤 陽乃
 「大好きなかぞく」



桶川西小学校 1年 岸 塔馬
 「ぼくのピアノで うたってね」



平成30年10月6日(土)に開催した川田谷地区親子ふれあいウォークは、残暑残る快晴のもと、参加者は155名という今までにない大人数で行われました。

午前9時に農業センターをスタートし、東光寺・熊野神社古墳・樋詰水川神社・泉福寺・城山公園の順に約8kmの道のりを、それぞれスタンプラリーやクイズで楽しみました。途中の泉福寺では、オケちゃんとの写真撮影もしました。ゴールの後には豚汁がふるまわれ、とても美味しくいただきました。

また、加納地区親子ふれあいウォークが開催された10月20日(土)は、少しあくまで朝でした。参加者54名が加納小学校をスタートし、坂田谷津谷遺跡公園・べに花ふるさと館・加納天神社・多気比売神社・後谷調整池の順に、こちらも約8kmの道のりを、スタンプラリーーやクイズで楽しみました。途中、べに花ふるさと館ではオケちゃんと写真撮影をし、後谷調整池では、縄文人が出現し、子ども達と踊ったり、プレゼントを渡したりしていました。参加者の疲れを忘れさせてくれるサプライズでした。

昨年度は、両地区とも雨天で中止だった親子ふれあいウォークは、今年度は両地区とも天候に恵まれ、気持ちの良い秋晴れでした。

桶川市子ども会育成連絡協議会の方々、加納小学校PTAの方々、青少年相談員、ジュニアリーダー、地域の皆様、ご協力ありがとうございました。

(対馬)

2018 親子ふれあいウォーク

